

# 巻 頭 言

## 21世紀の国民体育大会・ 障害者スポーツ大会像 ～国体ムーブメントの推進と今後の宮崎～



公益財団法人宮崎県体育協会

専務理事 川崎 重雄

これからの国体は、「国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通してスポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献する」という「スポーツ立国の実現」に向けた中心的な役割を果たすことを目指すこととしている。

国体ムーブメントとは、国体の開催を中心とする国体に関連した全ての諸事業をとおして、国体の果たす意義や価値を多くの人に伝え、理解を深める取組を展開していく運動であり、普遍的・恒久的に推進していくものである。その方向性には、

- ① 国体をとおした地域の活性化 ～元気な日本社会の創造～
- ② 国体をとおしたスポーツ文化の浸透 ～スポーツとともにある社会の実現～
- ③ 国体をとおした、アスリートの発掘・育成・強化 ～地域から世界へ～

と提示されている。平成29年度には、本県において「第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会」に向けた「県準備委員会」が設立される予定である。そこにおいて「二巡目宮崎国体・全国障害者スポーツ大会」の具体的方向性が示され、その後、本格的な事業が展開されていくこととなる。

平成31年には全国高校総合体育大会南部九州ブロック大会が南九州4県で開催予定である。

平成32年には東京オリンピック・パラリンピック開催、鹿児島国体・全国障害者スポーツ大会が開催される。本県に対しては中央競技団体による国体開催に向けた正式視察が実施される。

平成33年には本県として「第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会」の開催申請書を文部科学省・日本体育協会・日本障がい者スポーツ協会へ提出し、開催が内定となる。

平成36年・37年はリハーサル大会としての対応に努めなければならない。

平成38年に向けて開催県の主管である本県競技団体としては、様々な準備に取りかからなければならない。

スポーツを通じた心のバリアフリー化の推進

大会運営のスタッフ育成と資質の向上

女性アスリートの育成と強化

アンダー16の育成と強化

本県のスポーツを取り巻く関連産業の活性化

「する・観る・支える」～スポーツ文化の浸透～ スポーツにはサポーターが必要である。

プレーヤーを支える家族や指導者。おらが町の選手のプレーを応援するサポーター。大会への関係者として関わるボランティア等々。

二巡目開催である「第81回国民体育大会・第26回全国障害者スポーツ大会」は、みんなが何らかの役割で参加することで、宮崎で開催して良かったといえるものにしていかなければならない。競技施設の整備や大会結果とともにその後の宮崎県にとって多くのレガシー（有効遺産）を残すことが期待されている。そのことが国体ムーブメント推進のねらいといえる。

**平成28年度  
公益財団法人宮崎県体育協会 実施事業(11月～3月)**

11/ 8(火)	第2回企画委員会・競技力向上対策委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/10(木)	第2回九州地区体育協会連絡協議会	長崎ワシントンホテル
11/11(金)	第3回選手強化対策会議・国体表彰式・解団式・懇親会	ホテルメリージュ
11/12(土)	WAP 競技体験 <sup>⑫</sup>	宮崎市西部地区農村環境改善センター
11/12(土) ～13(日)	九州ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	青島青少年自然の家
11/14(月)	九州ブロック大会冬季大会団旗授与式	県電ホール
11/15(火)	九州ブロック大会冬季大会関係競技団体連絡会議	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 小会議室
11/16(水)	第2回総務委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/17(木)	第2回普及委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/25(金)	第2回理事会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
11/26(土)	WAP 競技体験 <sup>⑬</sup>	富田浜漕艇場
11/28(月)	第2回スポーツ医・科学委員会	宮崎県医師会館
12/ 3(土) ～4(日)	九州ブロック冬季大会(アイスホッケー競技会)	福岡県立総合プール アイススケート場
12/ 4(日)	WAP 競技体験 <sup>⑭</sup>	富田浜漕艇場、新富町体育館
12/10(土)	WAP 競技体験 <sup>⑮</sup>	日章学園高校
12/10(土)	ミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー2016	KIRISHIMA ツワブキ武道館
12/14(水)	チャレンジマッチ関係者打合せ会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 小会議室
12/17(土) ～18(日)	WAP2 期生2次オーディション	宮崎県体育館
1/14(土)	WAP 競技体験 <sup>⑯</sup>	日章学園高校
1/17(火)	国体冬季大会結団壮行式	県電ホール
1/18(水)	新春スポーツ関係者の集い	ホテルニューウェルシティ
1/19(木)	臨時財務委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
1/20(金)	九州ブロック大会第4回常任委員会	KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所 2F 大会議室
1/21(土) ～22(日)	スポーツ少年団認定員養成講習会	延岡市社会教育センター

1/22(日)	スポーツドクター全国研修会(西ブロック) 第3回公認スポーツドクター研修会	宮崎大学清武キャンパス
1/24(水)	第3回スポーツ指導者協議会理事会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
1/25(木)	臨時理事会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
1/28(土)	WAP競技体験⑰	宮崎市山内川緑地公園、 宮崎市立赤江東中学校
2/ 2(木)	臨時評議員会	KIRISHIMAツワブキ武道館
2/ 5(日)	WAP競技体験⑱	宮崎市西部地区農村環境改善センター
2/10(金)	第4回選手強化対策会議	KIRISHIMAツワブキ武道館
2/11(土)	宮崎県スポーツ指導者研修会	KIRISHIMAツワブキ武道館
2/18(土)	WAP競技体験⑲	宮崎県体育館
2/20(月)	第3回普及委員会・表彰委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
2/21(火)	第3回企画委員会・競技力向上対策委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
2/23(木)	第2回スポーツ少年団事務担当者会	KIRISHIMAツワブキ武道館
2/24(金)	九州ブロック大会実行委員会解散総会	KIRISHIMAツワブキ武道館
2/25(土)	第2回女性アスリート研修会	南九州大学宮崎キャンパス
2/26(日)	メディカルチェック報告会	野崎東病院
2/28(火)	第3回総務委員会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
3/ 2(木)	スポーツ少年団常任委員会・本部長会	KIRISHIMAツワブキ武道館大会議室
3/ 3(金)	チャレンジマッチ競技・総務担当者会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
3/ 4(土)	WAP競技体験⑳	県立宮崎商業高校、大淀川
3/ 6(月)	第3回スポーツ医・科学委員会	県医師会館
3/ 7(火)	九州ブロック大会次回開催県(長崎県)引継	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F小会議室
3/ 8(水)	第3回理事会	KIRISHIMAヤマザクラ県総合運動公園 受付・案内所2F大会議室
3/11(土)	WAP競技体験㉑	県立宮崎商業高校・大淀川
3/18(土)	WAP競技体験㉒	KIRISHIMA木の花ドーム
3/23(木)	臨時評議員会	KIRISHIMAツワブキ武道館

※ WAPとは「ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」の略称です。

# 平成28年度公益財団法人宮崎県体育協会 スポーツ優秀賞・奨励賞(小中高生) 一覧 選手及び指導者

## 優秀賞 (個人)

競技名	氏名 / 所属	大会名	成績
陸上競技	野村 勇輝 (宮崎県立宮崎工業高等学校)	第4回全国高等学校陸上競技選抜大会 男子300m 33秒35	第2位
	河野 志歩 (宮崎県立宮崎商業高等学校)	第10回日本ユース陸上選手権大会 女子400mハードル 1分01秒01	第2位
	矢野 香琳 (宮崎市立本郷中学校)	第43回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子200m 25秒07	第3位
	山内 優毅 (宮崎大学教育学部附属中学校)	第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会 B男子走幅跳 6m49	第2位
ソフトテニス 競技	中村 リコ (都城市立庄内中学校)	第11回ジュニアジャパンカップ U-14女子シングルス 準優勝	準優勝
剣道競技	吉村 健成 (高千穂町立高千穂中学校)	第46回全国中学校剣道大会 男子個人 3位	第3位
相撲競技	岸本 はな (きしもと はな) (延岡市立東海東小学校)	第2回全国女子相撲選手権ひめじ大会 4年生以下	優勝
		第7回全日本女子相撲郡上大会 4年生以下	優勝
		第14回全九州女子相撲選手権大会 4年生以下	優勝
山岳競技	兼城 雄太 (宮崎大学教育学部附属中学校)	スポーツライミング リード競技 第19回JOCジュニアオリンピックカップ大会男子ユースC	第3位
ウエイト リフティング 競技	浦崎 穂乃花 (宮崎県立小林高等学校)	第8回全日本女子選抜ウエイトリフティング 選手権大会 女子58kg級 高校の部 スナッチ68kg、 クリーン&ジャーク82kg、トータル150kg	第3位
レスリング競技	椎葉 桂己 (宮崎県立宮崎農業高等学校)	第32回全国高校生グレコローマンスタイル レスリング選手権大会 50kg級	優勝
		JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア レスリング選手権大会 男子カデット グレコローマンスタイル 50kg級	第3位
空手道競技	宜保 ありさ (宮崎第一高等学校)	空手1プレミアリーグ沖縄2016女子形	第3位
	黒木 美衣奈 (串間市立有明小学校)	第16回全国少年少女空手道選手権大会 小学2年女子組手	優勝
	小松 優心 (宮崎市立江南小学校)	第16回全国少年少女空手道選手権大会 小学3年女子組手	準優勝

ボウリング競技	愛甲 雅治 (宮崎大学教育学部附属小学校)	第7回全日本小学生ボウリング競技大会 5年生の部 優勝	優勝
サーフィン競技	伊東 李安琉 (宮崎市立木花中学校)	第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会 ボーイズクラス 2位	第2位
		第51回全日本サーフィン選手権大会 ボーイズクラス 2位	第2位
	藤田 彪成 (宮崎市立木花中学校)	第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会 ボーイズクラス 3位	第3位
	加藤 優典 (宮崎県立宮崎工業高等学校)	第51回全日本サーフィン選手権大会 ジュニアクラス 優勝	優勝
	加藤 里菜 (クラーク記念国際高校)	ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION- GAMES 2016 ガールズクラス 優勝	優勝

## 優秀賞 (指導者)

競技名	氏名 / 所属	大会名及び指導者
陸上競技	稲垣 徳文 (宮崎県立宮崎工業高等学校)	第4回全国高等学校陸上競技選抜大会男子 300m 2位 指導者
	高須 明 (宮崎県立宮崎商業高等学校)	第10回日本ユース陸上選手権大会女子 400m ハードル 2位 指導者
	河野 真和 (宮崎市立本郷中学校)	第43回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子 200m 3位 指導者
ソフトテニス 競技	猪野 進一 (都城市立庄内中学校)	第11回ジュニアジャパンカップ U-14 女子シングルス 準優勝 指導者
剣道競技	小野 雄祐 (高千穂町立高千穂中学校)	第46回全国中学校剣道大会 男子個人 3位 指導者
相撲競技	岩尾 啓太 (松恵山相撲道場)	第2回全国女子相撲選抜ひめじ大会 4年生以下 優勝 指導者
		第7回全日本女子郡上大会 4年生以下 優勝 指導者
		第14回全九州女子相撲選手権大会 4年生以下 優勝 指導者
山岳競技	黒木 浩紀 (宮崎スポーツクライミング協会)	スポーツクライミング リード競技 第19回 JOC ジュニアオリンピックカップ大会 男子ユースC 3位 指導者
ウェイト リフティング 競技	内之倉和彦 (宮崎県立小林高等学校)	第8回全日本女子選抜ウェイトリフティング 選手権大会 女子 58kg級 高校の部 3位 指導者
レスリング競技	淵ノ上文也 (宮崎県立宮崎農業高等学校)	第32回全国高校生グレコローマン スタイルレスリング選手権大会 50kg級 優勝 指導者
		JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア レスリング選手権大会男子カデット グレコローマンスタイル 50kg級 3位 指導者

空手道競技	函師 幸一 (宮崎第一高等学校)	空手1プレミアリーグ沖縄2016 女子形 3位 指導者
	平田 慎也 (緑勝会)	第16全国少年少女空手道選手権大会 小学2年女子組手 優勝 指導者
	渡邊 誠一 (夢道場)	第16全国少年少女空手道選手権大会 小学3年女子組手 準優勝 指導者
ボウリング競技	兼松 俊二 (宮崎県ボウリング連盟)	第7回全日本小学生ボウリング競技大会 5年生の部 優勝 指導者

## 奨励賞 (団体)

競技名	団体名及び選手 ○は学年	大会名	成績
陸上競技	<宮崎大学教育学部附属中学校> 山内 優毅 岩永 俊介 関本圭太郎 渡辺 秀一 吉村 颯馬 川野 雅人	第38回九州中学校陸上競技大会 男子総合の部 17点	優勝
	<宮崎市立本郷中学校> 太田 朱音 矢野 香琳 鍋島 愛菜 有田 奈央	第38回九州中学校陸上競技大会 女子総合の部 17点	優勝
	<宮崎市立大淀中学校> 弓削 千夏 足立 桐華 藤川 真綾 鼻田 涼姫	第38回九州中学校陸上競技大会 低学年女子4x100mリレー 50秒34 大会新記録、宮崎県中学新記録	優勝
	<延岡市立東海中学校> 西本 一雅 黒田 永吉 安藤 稔記 植木 陽太 串間 龍太 末永 奎治 山口 侑輝 阿波野一誠	第47回九州中学校ソフトテニス競技大会 男子団体 優勝	優勝
バドミントン 競技	<宮崎市立生目南中学校> 池田 大将 樋口 稜馬 小川 航汰 相良 拓摩 日高 堅斗	第45回九州中学校バドミントン競技大会 男子団体 優勝 【九州中学校体育連盟】	優勝
空手道競技	<新富町立富田中学校> 橋口 怜太 川原 晴人 政岡 大雅 松本 剛大 高松 莞吹	第12回九州中学校空手道競技大会 男子団体組手 優勝	優勝

## 奨励賞 (個人)

競技名	氏名	所属	大会名	成績
陸上競技	岩永 俊介 (宮崎大学教育学部附属中学校)		第 38 回九州中学校陸上競技大会 低学年男子 100m ハードル 13 秒 51 予選 13 秒 45 大会新記録	優勝
	山内 優毅 (宮崎大学教育学部附属中学校)		第 38 回九州中学校陸上競技大会 2 年男子 100m 11 秒 09	優勝
	上村 恵梨 (美郷町立美郷南学園)		第 38 回九州中学校陸上競技大会 2 年女子 100m 12 秒 34 大会新記録【九州中学体育連盟】	優勝
	矢野 香琳 (宮崎市立本郷中学校)		第 38 回九州中学校陸上競技大会 共通女子 200m 25 秒 05 宮崎県中学新記録	優勝
水泳競技	吉田 拓斗 (都城市立妻ヶ丘中学校)		第 44 回九州中学校水泳競技大会 男子 100m 平泳ぎ 優勝 1 分 05 秒 62	優勝
			第 44 回九州中学校水泳競技大会 男子 200m 平泳ぎ 優勝 2 分 21 秒 63	優勝
ソフトテニス 競技	田中 康文 淵ノ上育理 (都城市立高城中学校)		第 47 回九州中学校ソフトテニス競技大会 個人男子の部 優勝	優勝
体操競技	清野 毅志 (宮崎市立住吉中学校)		第 49 回九州中学校体操競技大会 男子種目別跳馬 優勝	優勝
バドミントン 競技	樋口 稜馬 小川 航汰 (宮崎市立生目南中学校)		第 45 回九州中学校バドミントン競技大会 男子ダブルス 優勝	優勝
空手道競技	宜保 ありさ (宮崎第一高等学校)		第 42 回全九州空手道選手権大会 少年女子形個人戦	優勝
	黒木 美衣奈 (串間市立有明小学校)		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 2 年女子組手	優勝
	土屋 遙人 (宮崎市立生目小学校)		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 1 年男子組手	優勝
	松田 剣志郎 (串間市立福島小学校)		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 3 年男子組手	優勝
	長友 麻耶 (西都市立妻南小学校)		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 5 年女子組手	優勝
	井崎 安奏 (宮崎市立大塚小学校)		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 6 年男子形	優勝
	八頭司 明 (宮崎第一高等学校)		第 42 回全九州空手道選手権大会 少年女子組手個人	優勝
ゴルフ競技	井戸川 純平 (宮崎日大高等学校)		第 27 回九州高等学校ゴルフ選手権新人戦大会 男子・個人の部	優勝

## 奨励賞 (指導者)

競技名	氏名 / 所属	大会名及び指導者
陸上競技	藤本 久充 (日向アスリートスポーツ少年団)	第 38 回九州中学校陸上競技大会 2 年女子 100m 優勝 指導者
	河野 真和 (宮崎市立本郷中学校)	第 38 回九州中学校陸上競技大会 共通女子 200m 優勝 指導者
		第 38 回九州中学校陸上競技大会 共通女子 4x100m リレー 優勝 指導者
		第 38 回九州中学校陸上競技大会 女子総合の部 優勝 指導者
田原 義雄 (宮崎市立大淀中学校)	第 38 回九州中学校陸上競技大会 低学年女子 4x100m リレー 優勝 指導者	
水泳競技	内木場朋和 (コーチ) (フィットピアスイミング)	第 44 回九州中学校水泳競技大会 男子平泳ぎ 100m 優勝 男子平泳ぎ 200m 優勝
ソフトテニス 競技	中村 大輔 (延岡市立東海中学校)	第 47 回九州中学校ソフトテニス競技大会 男子団体の部 優勝 指導者
	衛藤 卓哉 (都城市立高城中学校)	第 47 回九州中学校ソフトテニス競技大会 男子個人の部 優勝 指導者
体操競技	福田 雄仁 (FLASH 体操教室)	第 49 回九州中学校体操競技大会 男子種目別跳馬 優勝 指導者
バドミントン 競技	森田隆 (コーチ) (宮崎市立生目南中学校)	第 45 回九州中学校バドミントン競技大会 男子団体 優勝 指導者
		第 45 回九州中学校バドミントン競技大会 男子ダブルス 優勝 指導者
空手道競技	凶師 幸一 (宮崎第一高等学校)	第 42 回全九州空手道選手権大会 少年女子形個人戦 優勝 指導者
		第 42 回全九州空手道選手権大会 少年女子組手個人戦 優勝 指導者
	平田 慎也 (緑勝会)	第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 2 年女子組手 優勝 指導者
		第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 3 年男子組手 優勝 指導者
	渡邊 誠一 (夢道場)	第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 1 年男子組手 優勝 指導者
	橋口登志郎 (南空会)	第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 5 年女子組手 優勝 指導者
	西内 重夫 (心道会)	第 3 回全九州少年少女空手道選手権大会 小学 6 年男子形 優勝 指導者
	鶴田 正利 (コーチ) (新富和道会)	第 12 回九州中学校空手競技大会 男子団体組手 優勝 指導者

## 第71回国民体育大会 「希望郷いわて国体」解団式・懇談会

宮崎県選手団とその関係者が集い、「希望郷いわて国体」の解団式が行われました。

また、来る「愛顔つなぐえひめ国体」へ向けた志気を高めるための懇親会が開催されました。競技団体の相互交流が図られ、有意義な時間となりました。



川崎総監督から佐藤会長へ団旗の返還

## 第3回選手強化対策会議

平成28年11月11日、ホテルメリージュにおいて、第3回選手強化対策会議が開催されました。第71回国民体育大会の成果や課題について、各競技団体から報告がありました。



中馬委員長のあいさつ



各競技団体からの報告

## 第4回選手強化対策会議

平成29年2月10日、KIRISHIMA ツワブキ武道館において、第4回選手強化対策会議が開催されました。今年度実施した競技団体ヒアリングについて報告が行われた後、「次年度の国体に向けた強化策」「ジュニア（ターゲットエイジ）の育成」をテーマに分科会が行われました。また、全体会では競技力向上対策委員会の中馬委員長を座長に、より具体的な取組について意見交換が行われました。



競技団体ヒアリングの報告や強化策等についての分科会・全体会を実施

# 第71回国民体育大会2016 希望郷いわて国体 チームみやざき写真展示

本県スポーツ競技力向上支援事業の一環として、国民体育大会出場選手の競技写真を公共の場に展示することで、県民へ幅広く国民体育大会の理解と関心を深めてもらい、県全体の活性化を図る目的として開催しました。

本年度は宮交シティ、県電ホール、KIRISHIMA ツワブキ武道館、宮崎県体育館、宮崎駅の御協力をいただき本県選手団の躍動する姿を写した写真、国民体育大会についての説明やこれまでの宮崎県選手団の国体成績等を展示しました。

2026年国民体育大会本県開催まで10年をきりました。県民皆様に広く国民体育大会について知っていただき、宮崎県民が一体となって準備を進めていければと思います。今後も御理解と御支援の程、よろしく申し上げます。



宮交シティ



宮崎県体育館



県企業局県電ホール



KIRISHIMA ツワブキ武道館



宮崎駅

# 国民体育大会冬季大会報告

## 第36回国民体育大会九州ブロック大会 アイスホッケー競技会

- 期日 / 平成28年12月3日(土)～12月4日(日)
- 会場 / 福岡県 福岡県立総合プールスケートリンク

### ■ 成年男子 1回戦

宮崎県6 ( 3-0  
2-3  
1-2 ) 5大分県

### ■ 成年男子 2回戦

宮崎県1 ( 1-8  
0-9  
0-4 ) 21沖縄県

※宮崎県は代表権獲得

## 第72回国民体育大会冬季大会 アイスホッケー競技会

- 期日 / 平成29年1月27日(金)
- 会場 / 長野県軽井沢町 軽井沢風越公園アイスアリーナ

### ■ 成年男子 1回戦

宮崎県0 ( 0-3  
0-3  
0-9 ) 15岩手県



宮崎県アイスホッケー成年男子チーム

## 第72回国民体育大会冬季大会 スケート競技会

- 期日 / 平成29年1月30日(月)～1月31日(火)
- 会場 / 長野県長野市 若里多目的スポーツアリーナ

### 【ショートトラック 1000m 予選 8組】

区分	氏名/所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地(宮崎太陽銀行)	1分44秒183	5位	予選落ち

### 【ショートトラック 500m 予選 3組】

区分	氏名/所属	タイム	順位	備考
成年男子	馬原 大地(宮崎太陽銀行)	50秒242	5位	予選落ち



馬原選手



開始式の  
歓迎アトラクション  
の様子

# 第72回国民体育大会冬季大会 スキー競技会

## ■ジャイアントスラローム

- 期日/平成29年2月15日(水)～ 2月17日(金)
- 会場/長野県北安曇郡白馬村 白馬八方尾根スキー場

区分	氏名/所属	タイム	順位	備考
成年男子 A	藤本 航太 (千葉大学)	棄 権		※ふるさと選手
成年男子 A	松本 玲 (鳥取環境大学)	1 分 53 秒 62	104 位	※ふるさと選手
成年男子 C	井上 功 (オートバックス小林)	1 分 37 秒 40	96 位	
成年男子 C	増田 久人 (宮崎県スキー連盟)	1 分 44 秒 25	111 位	
成年男子 C	浦尻 雅彦 (有限会社別府金物店)	1 分 52 秒 62	117 位	
成年女子 A	久保崎鈴菜 (AJS 株式会社)	1 分 56 秒 31	81 位	
少年男子	杉田 遼河 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	2 分 07 秒 49	147 位	
少年男子	古川 奨悟 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	2 分 22 秒 24	152 位	
少年男子	横川 晟吾 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	2 分 33 秒 57	154 位	
少年男子	真鍋 青空 (高千穂町立高千穂中学校)	2 分 32 秒 71	153 位	
少年女子	内倉多恵子 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	2 分 06 秒 38	102 位	
少年女子	村中 愛美 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	2 分 23 秒 57	104 位	
少年女子	中束 留菜 (県立五ヶ瀬中等教育学校)	棄 権		
少年女子	長沢 直美 (日向学院高等学校)	2 分 28 秒 99	105 位	



開会式に臨むスキー競技選手団



成年男子 A 大回転の松本選手



成年女子 A 大回転の久保崎選手



成年男子 C 大回転の井上選手



成年男子 C 大回転の増田選手

● 冬季大会男女総合成績(天皇杯得点) 季別順位 34位

参加点/総合 30 点 (スケート 10 点 アイスホッケー 10 点 スキー 10 点) 競技得点/総合 0 点

# 平成28年度 「女性アスリート研修会」

今年度も2回女性アスリート研修会を実施しました。参加対象者を、競技団体をはじめとして県高等学校競技力強化推進校・育成校、県中学校競技力向上推進校、県中高一貫競技力向上拠点校、学校体育連盟、女性アスリートに関わるスタッフ、成年女子選手とし、1回目は平成28年10月21日(金)県武道館大会議室において、2回目は平成29年2月25日(土)南九州大学宮崎キャンパスにおいて開催しました。

1回目は、「女性アスリートが抱える女性特有の問題について(明野氏)」と「女性アスリートに対する効果的なトレーニング(井崎氏)」について、女性アスリートに特化したトレーニングの研修内容といたしました。

2回目は、「女性アスリートの健康・食事・栄養(明野氏)」と「女性アスリートの食事メニュー(日高氏)」について女性アスリートの誰もが悩む食事についての研修内容といたしました。

(写真は左から、明野 慶子氏、井崎 守氏、日高 知子氏)



明野氏による講話では、月経が及ぼすパフォーマンスへの影響についての講義があり、必要に応じて月経をコントロールし、大会に臨むことも大切であること。何よりも、月経に対する理解を深めることが大切であることを強調されました。



井崎氏の講義では、女性に多いスポーツ障害と女性の身体的構造の特徴の紹介と併せて、それを予防するための体幹トレーニングの説明がありました。講義では、ただトレーニングをするのではなく、どこを意識して取り組むかが大切であるということでした。



日高氏の講義は、日常の食生活や外食のポイント、見本を提示しながら具体的に説明がありました。コンビニエンスストアを利用するときなど、即実践できることもありました。また、昔と比較して調理器具によって鉄分等の摂取量が違うことも認識しました。

1回目に引き続き明野氏の講義ではありますが、産婦人科医師の立場から女性アスリートの三主徴と栄養との関係について、バランス良く食事を摂ることやタイミングを考えることが大切であると説明がありました。また、スポーツフードやサプリメントの利用上の注意、宮崎県内の相談可能な産婦人科の紹介をしていただきました。

2回の研修とも質疑が多く、関心の深さを改めて感じました。選手の食事摂取状況の改善と、女性アスリート特有の問題や傷害予防における栄養・食事に関する正しい理解を深め、選手の食の自立を促すことが出来ればと考えています。

今後、本県においても女性アスリートの活躍は大いに期待され、2巡目国体を見据えたときには、女子競技力の向上が必要になってきます。今後ともよろしく願いたします。

# 宮崎ワールドアスリート

## 発掘・育成プロジェクト

### 宮崎ワールドアスリート

#### ● 1期生スタート

平成28年5月14日(土)、宮崎県体育館において宮崎ワールドアスリート1期生の認定式を開催しました。その1期生として前年度のオーディションで選ばれた県内の中学1年生26名、小学6年生25名、計51名に佐藤勇夫宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト実行委員会委員長(公益財団法人宮崎県体育協会会長)及び四本孝宮崎県教育長から認定証が一人一人に授与されました。式では、西吉葉汰さん(高鍋東中1年)と田中優衣さん(生田小5年)が、1期生を代表して「オリンピック競技大会や宮崎国体で活躍する!」と、力強く誓いの言葉を述べてくれました。そして、この日から育成プログラムがスタートしました。

育成プログラムでは、競技種目体験プログラム(ウエイトリフティングなど)、コーディネーショントレーニング、自宅課題カリキュラム、コミュニケーションスキル、メンタルトレーニング、そして、ファミリープログラム(調理実習など)等に1期生及びその保護者が真剣に取り組んでいます。



#### ● 2期生オーディション

平成28年10月15日(土) 都城市早水公園体育文化センター、10月16日(日) 延岡市民体育館、そして、10月22日(土) 宮崎県体育館において、2期生の1次オーディションを実施しました。申込者数429名のうち、380名(都城会場:79名、延岡会場:66名、宮崎会場:235名)が、将来、オリンピック・国際大会等で活躍する選手や10年後の宮崎国体での本県代表選手を目指して、30m走、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび、メディシンボール投げ、反復横とびに挑戦しました。

そして、12月17日(土)・18日(日)に宮崎県体育館において、1次オーディション通過者101名が2次オーディションに挑戦しました。測定種目等は、垂直跳び、20mシャトルラン、スラローム走、椅子番号走、センシング、作文、メディカルチェック、ヒアリングを実施しました。



スポーツ少年団便り

# ミヤザキ・スポーツ リーダーズ・ セミナー2016



## 夢を夢で終わらせない 競泳人生

講師：久世 由美子氏

東海スイミングクラブヘッドコーチ  
リオデジャネイロ五輪パーソナルコーチ

平成28年12月10日(土)KIRISHIMA ツブキ武道館大会議室においてミヤザキ・スポーツリーダーズ・セミナー2016が開催されました。

県内スポーツ指導者の資質向上を目的に UMK テレビ宮崎のご協力のもと、今回で 21 回目の開催となりました。

久世氏には、オリンピックでの喜び・感動・苦勞など普通では知り得ないとても興味を引くお話を交えながら講演をしていただきました。

参加された指導者の方々も「指導者としてのあり方、考え方がすばらしく共感できた。」「逆境をプラスとする考え方、あいさつ、返事、礼儀、感謝の心の教育、熱意ある指導の大切さを学びました。」「自らの行動を含め、改めて見直す、考え直す良い機会となり、良い参考となりました。」など多くの感想をいただきました。

また、これから指導者を目指す、学生からは、「1 人の競技人生を知ることができ、指導を目指す自分にとってためになる話でした。」との感想もありました。

この事業は平成 29 年度も開催される予定です。指導者の暴言・暴力が騒がれる昨今、厳しい指導だけではなく寄り添う指導の大切さをトップアスリートやアスリートを育てた指導者の方の講演を聞くことにより、指導する上での大切な事を学べる機会になるのではないのでしょうか。



## スポーツ少年団便り

# 第43回 日独スポーツ少年団 交流事業串間市受入



この事業は、日本、ドイツ両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流により、友好と親善を深め、国際能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として実施される事業です。本年度は、串間市に受入をしていただきました。串間市では受入に向けて、市生涯学習課、地域住民やスポーツ少年団関係者が協力し準備を進めました。県立福島高校生徒や串間市スポーツクラブ会員との交流やトビウオすくい体験、旧吉松家見学、都井岬散策など串間市ならではのプログラムで交流を図りました。

## ●実施状況

7/30 (土) 大分県津久見市へ迎え 場所／津久見市  
串間市歓迎レセプション 場所／市総合保健福祉センター

7/31 (日) 各民泊プログラム 場所／各受入家庭

8/1 (月) 旧吉松家見学 場所／旧吉松家  
串間市長表敬訪問 場所／市長応接室  
県立福島高校生徒との交流 場所／県立福島高等学校  
スポーツ交流 場所／串間市民体育館  
とび魚すくい体験 場所／立宇津港

8/2 (火) イルカランド見学 場所／志布志湾大黒  
都井岬見学 場所／都井岬  
お別れパーティー 場所／屋外バーベキュー

8/3 (水) お別れ式 場所／串間市役所



指導者協議会便り

# 平成28年度 宮崎県スポーツ指導者研修会

平成29年2月11日(土)にKIRISHIMA ツワブキ武道館で宮崎県スポーツ指導者研修会が開催されました。この研修会は、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新義務研修にも位置づけられており、当日は一般の参加の指導者を含め約250名の参加がありました。



特別講演  
演 題「強くなるために大切にしてきたこと」  
講 師 松田 丈志 氏  
リオデジャネイロ五輪  
競泳男子4×200m フリーリレー銅メダリスト



講 義  
演 題「やる気を引き出す言葉かけ  
～ペップトークを活用して～」  
講 師 川添まり子 氏  
(財)日本ペップトーク普及協会認定講師

情報提供  
演 題「スポーツと水分補給について」  
講 師 木村 勇人 氏 大塚製薬株式会社熊本支店 宮崎出張所

特別講演では、松田丈志氏の世界を相手に戦ってきたこれまでの競技経験から、選手そしてコーチの望ましい姿を具体的な事例をもとに話をいただきました。

講義では、川添まり子氏から、選手をやる気にさせる具体的な言葉かけについて、御自身の教職員の経験等とおして分かりやすく話をいただきました。

参加者の皆様は講師の方々の話に熱心に耳を傾けていました。以下は参加者の主な感想です。

松田丈志さんの貴重なお話を聞くことができ、  
人間力の大切さや継続することの大変さ、モチベーションの  
維持の方法など、私のためになることばかりで刺激を受けました。

松田丈志さんの講演はスポーツ選手としても  
スポーツ指導者としても参考になる話でした。  
コーチとの関係は素晴らしいもので、やはり信頼関係が  
大切であり、指導者の一言が選手のモチベーションにも  
つながると感じました。

大変、有意義な講演ありがとうございました。  
特に「①仲間とのコミュニケーションづくり」「②マルチな取組」  
「③科学的分析を取り入れること」「④最後に根性！」  
今後の指導に活かしていきたいと思いました。

ペップトーク、早速実践していきたいです。  
反省する言葉かけが多くあるので、まずは自分自身が  
捉え方やしてほしい変換をして自身の心に  
言葉かけをしていきたいです。

本日の講義で、ワークシートに言葉が浮かばなかった分、  
自分にポジティブな言葉が足りないのだと感じました。  
自分の子育てにも取り入れながら、ポジティブな言葉かけが  
できるようにしていきたいと思いました。

川添まり子さんの講演「ペップトークを活用して」を初めて聞きました。  
指導現場だけでなく、職場でも生かせる内容でした。自分なりに楽天的で  
ポジティブと思っていましたが、今後もこのペップトークを活用して、  
自分を含めてステップアップしたいと感じました。  
今回はとても勉強になりました。ありがとうございました。

スポーツ医・科学委員会便り

# 女性とスポーツ

## はじめに

その昔、スポーツは男性が行うもので、女性の参加は許されていませんでした。しかし、ここ40年間で女性のスポーツ人口は劇的に増加し、特に高校生、大学生のスポーツ人口が増えています。競技種目においてもサッカーやラグビーなど女性が参加できる競技が増えてきました。国際大会やオリンピックでの女性選手の活躍ぶりをご存知のとおりです。

最近になり、スポーツを行う女性に特徴的な健康問題が起こることがわかってきました。「エネルギー不足」「無月経」「骨粗鬆症」の3つです。「女性アスリートの三主徴」と呼ばれています。この問題が起こると、練習や試合に出られないだけでなく、競技生活を断念しなければならない事態に陥ることもあります。女性のスポーツに関わる方々にはぜひ知っていただきたいと思います。

また、女性と月経は切っても切り離せません。出血や月経痛がパフォーマンスに影響することがあります。その場合は薬を使って月経痛を弱めたり、月経の時期をずらすことができます。

## 【女性アスリートの三主徴】

### ① エネルギー不足について

エネルギー不足とは、摂取エネルギーに対し消費エネルギーが上回っている状態のことです。つまり、食事摂取量が少なすぎる、あるいは、トレーニング量が多すぎる状態です。エネルギーが不足すると、女性の場合、月経や骨に悪影響が出てきます。月経が不順になり、ひどくなると無月経になります。骨量が減少して強度が弱くなり、骨粗鬆症を引き起こします。

女性選手では特に食事に注意しなければなりません。トレーニング量に見合ったカロリーが摂取できているか確認し、食事回数を増やしたり補食を摂ることでエネルギーを補う必要があります。無月経が続いている場合はエネルギー不足が疑われますので、トレーニング量を減らすことも必要です。

また、周囲からの期待や成績を落としたい気持ちがプレッシャーとなり、摂食障害を起こす選手もいます。過食症や拒食症など、摂食異常が見られるときは精神的なサポートが必要になることがあります。日々の食事をきちんと摂ることが、良い成績を残すことにつながります。

### ② 無月経について

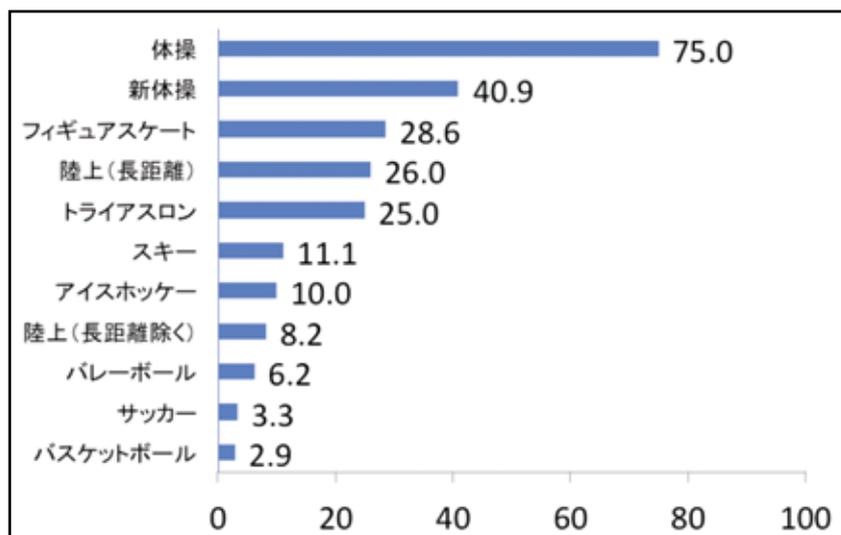
エネルギーが不足すると、脳からのホルモン分泌がうまく起こらなくなり、卵巣から女性ホルモンが分泌されなくなります。月経は女性ホルモンのはたらきによって起こるので、エネルギー不足の状態が続くと、月経不順や無月経が起こります。女性ホルモンには骨を丈夫にするという大切なはたらきがありますので、女性ホルモンがきちんと出なくなると、骨が弱くなり骨粗鬆症になります。

体操選手や陸上の長距離選手は、痩せていることを求められるため食事量を制限する傾向にあります。そういった競技では無月経の選手が多いというデータがあります【図1】。



女性ホルモンの分泌は8～9歳頃から始まり、12歳頃に初経を迎えます。この思春期の時期にエネルギーが不足しないようにし、きちんと女性ホルモンを分泌させることが必要です。食事を増やしても月経が正常にならない場合は、ホルモン剤による治療を行います。スポーツ活動への影響を考え、15歳までに初経がない場合は産婦人科への受診をすすめます。

図1. 競技別女性アスリートの月経異常の割合 (%)



### ③ 骨粗鬆症について

食事摂取量が少なく、カルシウムなどの栄養素が不足したり、女性ホルモンの分泌が起こらなくなると、骨量が減少して骨粗鬆症になります。骨粗鬆症の状態トレーニングを続けると、疲労骨折を起こしやすくなります。疲労骨折のピークは16～17歳であり、中学生（初経を迎える時期）のときにエネルギーが不足して女性ホルモンが出ない状態が続くと、高校生になってさらにハードなトレーニングをするようになったときに疲労骨折を起こすといわれています。練習や試合に参加できなくなり、競技生活を断念せざるをえない事態に陥ることもあります。また、骨粗鬆症は現役時代だけでなく老年期になっても影響します。

今現在、若い女性スポーツ選手の骨粗鬆症に対する特効薬はありません。ホルモン治療もあまり効果がないといわれています。そのため、骨粗鬆症にならないように予防することが大切です。骨粗鬆症が起こってから治療するのでは手遅れです。

以上のことから、女性では思春期あるいはそれ以前の早いうちから食事や月経について意識することが重要です。

食事は「日」単位、月経は「月」単位、骨は「年」単位です。エネルギー不足の状態が続くと月経異常が起こり、それが蓄積して骨粗鬆症になります。まずは毎日の食事がきちんと摂れているか、もう一度見直してみましょう。

### 【スポーツ選手の月経調整】

今まで無月経について述べてきましたが、月経がきちんと起こっている選手では別の問題が起こってきます。月経が起こっている最中は出血や月経痛に悩まされ、月経周期によって気分の変動があったり体重の増減が起こります。ロンドンオリンピックに出場した選手の約4割が、月経が競技に影響したと回答しています【図2】。

月経痛や気分の変動によって十分なパフォーマンスが発揮できないと感じている場合は、月経の調整を行います。

図2. ロンドンオリンピックに出場した女性アスリート 132 名へのアンケート

Q：女性特有の身体的問題で、競技に影響を及ぼしたと感じたことは？

内容(自由記述)	人数	%
月経痛(腰痛・腹痛・頭痛)	22	27.8
月経による体調不良	29	36.7
月経による精神的不安	4	5.1
月経不順	6	7.6
貧血	12	15.2
その他	6	7.6

月経調整を行う際は、低用量ピルの内服を行います。内服する時期を長くしたり短くしたりすることで、月経を任意の時期にずらすことができます。例えば、試合の日に月経がこないようにする、月経周期のうちで一番調子がいい時期を試合に合わせる、といったことが可能です。

低用量ピルの副作用として、血栓症があります。エコノミークラス症候群とも呼ばれている、血が固まりやすくなる病気です。普段スポーツを行っている女性の場合はあまり心配することはないと言われていますが、血栓症の既往や血液の病気がある場合は医師に申告してください。その他の副作用として、内服中に吐き気が起こったり、身体がむくんで体重が増える場合があります。吐き気についてはピルの飲み始めに起こりやすいですが、内服を継続することによって軽減することが多いです。体重増加については、内服中に減量時期や試合日が重ならないように調整することで競技への影響を極力なくすように対処します。

日本においてはピルが普及しておらず、一流選手でも2～7%の選手しか内服していません。欧米では40～80%の選手が内服していると言われていています。もちろん、月経調整が必要な選手に限りますので、選手全員が内服する必要はありません。ピルに関する誤解や偏見があり、内服をためらう選手も多いです。妊娠しないようにする薬、というのは間違いではありませんが、うまく内服することで月経痛や気分の変動を軽くすることができる、女性にとって大きな味方になる薬です。女性スポーツ選手が試合でベストパフォーマンスを発揮できるよう、お手伝いができると思います。

## まとめ

女性にとって月経は約40年にわたって付き合いがなければならぬものであり、妊娠・出産をするために非常に大切なものです。スポーツ選手にとっては煩わしいものかもしれませんが、女性ホルモンをきちんと分泌させ、骨を丈夫にしてけがをしないように競技生活を続けていく上で月経は必要です。月経をうまく調整することで、試合でベストパフォーマンスが発揮できます。月経に関して困っていることがあれば、お近くの産婦人科へ気軽に受診してください。

## 加盟団体便り(1) 東臼杵郡体育協会

### 第7回美郷町民スポーツ祭 開催! 初の「みさとっ子リレー」や各団 応援など大いに盛り上がる!

「第7回美郷町民スポーツ祭」が美郷町スポーツデーである、10月最終日曜日(30日)に、西郷総合グラウンドで盛大に開催されました。

2年ぶりの開催となったこの大会には、町内を6つの団に分けて編成された各団団長を中心とした選手の皆さんと、大会役員など総勢約1300人の町民が一同に集い、互いに融和と親睦を深めながらスポーツの秋を大いに満喫しました。

特に今回初めて取り入れた団対抗リレーの出場選手以外の全小中学生が総参加で行う「みさとっ子リレー」においては、美郷町にちなんだユニークな名前をつけた5つのチームに分かれた子ども達が一生懸命に走る姿に、応援にも熱が入り、大いに盛り上がりました。

美郷町体育協会も本大会の企画立案から携わり、町民のスポーツ振興に努めています。



### 諸塚に夏の訪れを告げる! 「九州玉入れ選手権大会」

諸塚村では毎年6月第4日曜に「九州玉入れ選手権大会」を開催しています。「アジャタ」と呼ばれる公式ルールに則って、4～6人のメンバーで高さ4.12mのカゴに100個のアジャタボールをすべて入れるのに要した時間で競います。世代、性別等関係なくどなたでも楽しめることから、九州内での普及も進んでいます。

この大会にも九州全域からの参加があり、本村の地域活性化にもつながる大きな社会体育・スポーツイベントの1つです。大会は、一般の部・レディースの部・ビギナーズの部、3つの区分でそれぞれの優勝賞金を目指した熱い闘いが繰り広げられます。村体育協会では、大会役員や競技役員としてこの大会運営を支えています。

「たかが玉入れ、されど玉入れ」。みなさんもぜひ出場あるいは観戦で諸塚村を訪れてみませんか?



## 加盟団体便り(1) 東臼杵郡体育協会

### 剣道錬成大会の開催

椎葉村では、昔から剣道が盛んであり本村出身者も広く活躍しています。平成28年度も高校生が九州大会やインターハイに出場し優秀な成績を収めています。剣道クラブの児童や椎葉中学校剣道部の生徒達は先輩方の活躍に憧れ、後ろ姿を目指し、日々努力し精進を続けているところです。

しかしながら少子化に伴い本村における剣道のチーム数は減少し、少ない人数での稽古では、出来ることも限られてきてしまいます。そこで椎葉村体育協会では、11月に行われる本村最大のイベントである『椎葉平家まつり』に合わせ、剣道大会を開催しました。県内はもとより県外からも多数の応募があり今年は130名を超えるご参加をいただきました。同学年の児童と剣を交える機会の少ない本村児童は、緊張しつつも元気よく声を出し、楽しんで大会に参加してくれました。

3月には、椎葉剣士会と椎葉中剣道部後援会が協力し、『椎葉村剣道錬成大会』を開催いたします。県内外から中学校を10校程招待し、2日間に渡って稽古を行い、技術力の向上と他校との親睦を深めます。

今後とも椎葉村村体育協会では、各団体と協力して、剣道の理念である生涯にわたる人間形成を達成するためのバックアップを行ってまいります。



### 砂入り人工芝テニスコートの完成

スポーツ振興くじ (toto) 助成金を活用し、門川海浜公園内のテニスコート4面を土のコートから砂入り人工芝生へ改修しました。

県内のテニスコートとして初めてコート内がブルー色となっています。3月4日にリニューアルオープンセレモニーが行われ、利用者から大変好評の声をいただいています。

今後、町内はもちろん、町外からの利用者増加が期待できます。また、大会や合宿誘致にも努めてまいります。



## 加盟団体便り(2)

## 宮崎県におけるソフトテニス競技の現状について

宮崎県ソフトテニス連盟 理事長 當瀬 純一

## 1. はじめに

日本に生まれ、軟式庭球とよばれてた現在のソフトテニスの歴史は 117 年を迎え、ジュニアからシニアまで生涯スポーツとして受け継がれ発展をしている。

本県の現況と将来に向けての構想を紹介したい。

## 2. 会員登録状況について

児童・生徒の数は少子化に伴い心配をしているが、現状では維持できていると考えている。今後、減少が予想されるが、ジュニアの会員確保・クラブの育成に努めると共に中学生・高校生・一般の会員増に取り組んでいきたい。

ソフトテニスの会員登録は公認審判員とセットとなっており、資格として、ジュニア(小学生・中学生)・2級・1級・マスターアンパイア・マスターレフェリーの五区分があり、講習会で認定更新をしている。

また、本連盟の制度として技術等級があり、大会の参加条件としてこの等級が必要な場合もある。この技術等級の取得については検定会か大会実績のいずれかで申請できるが、本県では大会実績を採用している。

区分	男子(前年比)	女子(前年比)	個人計
小学生	206 (-7)	249 (+8)	455
中学生	1,423 (-80)	1,804 (-155)	3,227
高校生	539 (+30)	420 (+32)	959
大学生			0
一般	509 (-21)	263 (-33)	772
合計	2,677 (-78)	2,736 (-148)	5,413

## 3. 競技等について

公益財団法人日本ソフトテニス連盟は、「国際レベルの競技能力の開発を目指して、競技者の発掘、育成、強化の全体を通じた共通の理念と指導カリキュラムに基づいて、それぞれの時期に最適な指導を一貫して行うこと。またソフトテニス競技をより魅力のあるスポーツに育て、競技を通じて青少年の育成に寄与していくこと。」を基本理念として、一貫指導システムを構築し推進している。

このプログラムを受けて、本県でもステップ1を各支部で、ステップ2を県で実施し、熊本でのステップ3に選手を送り、その結果を受けて、宮崎市で開催されるステップ4に進み、この中からステップ5の全日本アンダー14、アンダー17、アンダー20を経てナショナルチームに選考されている。今年はアンダー14に中村リコ(庄内中)、岩浦桜子(加納中)の二人が選考されている。過去にも多くの選手が選考され、強化合宿、大会にも出場し現在も活躍している。

本県における大会を紹介すると、ジュニアの部(小学生)、中学生の部、高校の部、一般・シニアの部、レディースの部、超壮年の部で開催をしている。ジュニア・中学生・高校生は全国大会の出場に向けての選考会を経て強化合宿・対外試合を積み上げながら将来活躍してくれる選手を育成している。

特に国民体育大会に向けての取組は、少年男女の4種目は国体出場を目指しているが、平成28年度は成年男女のみが出場し、成年男子が4位入賞を果たしてくれた。井口兄弟、鹿島選手を中心として戦力を維持しながら若手の強化を図っていきたい。2巡目の国民体育大会を迎えるが、その前の南九州インターハイで戦える高校生を強化育成し、この年代が2巡目につながることになるので、長期的展望のもと組織をあげて取り組みたい。



## 4. おわりに



宮崎県教育委員会、公益財団法人宮崎県体育協会、その他多くの機関に支援していただいていることに感謝申し上げますと共に、県内各支部の会員のご協力にお礼を申し上げます。

今後宮崎県ソフトテニス連盟では、ジュニアからシニアに至るまでの会員増を図り、技術力の向上を目指していききたいと思います。

## 総合型地域スポーツクラブ (1)



# 小林元気クラブ

クラブマネージャー 迫間 美紀

## クラブ理念

- ・ いろんなスポーツや文化活動を楽しむ。 ・ 地域の子どもを地域で育てる。
- ・ 世代を超えて地域の交流を図る。 ・ 生き甲斐・仲間づくりをサポートする。



小林元気クラブは、平成 20 年 3 月に設立しました。設立当初は「西小林元気クラブ」として西小林地区の市民の方々の御支援御協力により、スポーツ・文化活動を提供し、健康で明るい地域づくりを目指すために開設されました。

平成 24 年度に西小林地区だけでなく小林市全域に活動範囲を広げ、スポーツ・文化活動をより地域に広げ、会員・市民の方々により身近に感じてもらえるためにクラブ名を「小林元気クラブ」へ改称しました。それからは、市や行政の協力体制がより深まり、委託事業・補助事業を活用したスポーツ・文化活動を提供できるようになり、13 種類の教室・サークルを展開することができました。またイベント活動も積極的に行い、年々充実した活動を会員・市民の方々に提供できるようになりました。たとえば、小林市で活発に行われているミニバレーボールをサークルとして、提供し、年度末に大会を開き、練習の成果を発揮してもらえるような企画。芋や蕎麦を栽培・収穫してお祭りを開き、ふるまいといった事も行っています。

クラブ運営については、市・体育協会・地域振興会と連携し行っています。組織として、理事長・会長・副会長・クラブマネージャー・会計と理事が毎月理事会を行い教室・サークルなどの行事、また研修会や他の行事からの協力依頼などといった議題を協議・報告しあえるような組織として活動しています。高齢化により会員・市民のニーズも変わりつつある中で、いかにしてクラブ運営を盛り上げていくかが常に問われています。そんな中でクラブとして、市・行政・地域振興会との連携は欠かせないものとなり、またスポーツ推進委員・学校・社会教育・各競技団体・スポーツ少年団との繋がりは、今後のクラブ運営にもっとも必要になると感じています。

設立 10 周年を目前に、私達「小林元気クラブ」は改めて、会員並びに地域住民に対して、スポーツ・文化活動の振興に関する事業を行い「ふれあい・いきいき・っこり・元気」になる、健康で明るい地域づくりを目指していきたい。



## 平成 29 年度《年間行事》

- 7 月 … 救急処置講習・健康体カテスト
- 8 月 … グランドゴルフ大会
- 10 月 … ウォーキング大会
- 12 月 … 元気まつり (収穫祭)
- 3 月 … 元気クラブ杯 ミニバレー大会



総合型地域スポーツクラブ (2)

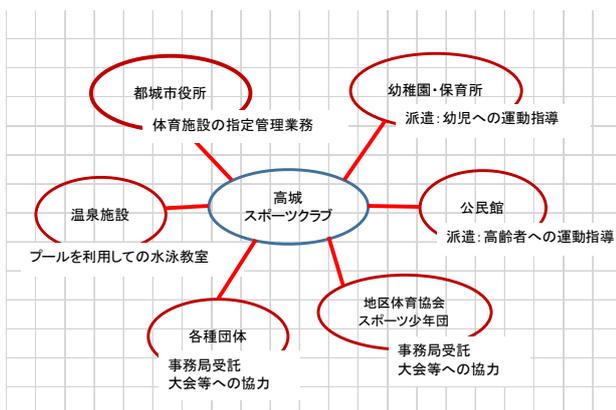


～ひとづくり 生きがいづくり 健康づくり  
仲間づくり そして 活力のあるまちづくり～

事務局 尾曲 ともみ

高城スポーツクラブは、平成 17 年、18 年の設立準備期間を経て、平成 19 年 2 月に都城市初の総合型地域スポーツクラブ「いきいき倶楽部」として設立しました。平成 21 年に地域名が入った方がわかり易いという意見もあり「高城スポーツクラブ」に名称を変更しました。また、平成 22 年 10 月に NPO 法人化し現在に至っています。

10 年目を迎えた今年の会員数は、473 名 (平成 28 年 12 月末現在) と、過去最高です。高城地区だけではなく、都城市全域、三股町、小林市、宮崎市、鹿児島県からの参加があります。



現在は、指定管理を行っている施設で各教室を実施していますが、空いている時間を有効に教室が開催できるよう計画していきたいと考えています。

事業内容としては、サークル活動、キッズを対象とした教室、一般を対象とした教室、都城さくらマラソンやバドミントンなどの大会・イベント、幼稚園や公民館等からの依頼を受けての運動指導やレクリエーション指導の派遣事業、高城運動公園等施設の指定管理業務、各種団体のサポートとして事務局受託等があります。

10 月からは、温泉に来られる方を対象に温泉施設 (場の提供と広報)、包括支援センター (血圧測定と健康相談)、高城スポーツクラブ (運動指導) と 3 社で連携して「健康づくり教室」を開催しています。今後も様々な団体と協力・連携した事業を開催していくことで地域にクラブを根付かせていきたい。

日本体育協会クラブマネジメント指導者海外派遣事業でドイツのクラブを見る機会がありました。100 年を超えるクラブには伝統があり、趣がありました。高城スポーツクラブも 100 年続くクラブを目指したいと思います。

## 総合型地域スポーツクラブ (3)

# 総合型地域スポーツクラブ便り

## 「こころ」と「からだ」“わくわく”教室

平成29年1月15日(土) 高城運動公園内屋内競技場



手の大きさに合ったボールの握り方を学びそれぞれが真剣に身に付けようと自ら意欲的に学び、互いに確認し合っている子どもたちです。



### ～ スポーツ医・科学へのアプローチ ～

## 投げる

平成 29 年 1 月 15 日 (日) に高城運動公園内屋内競技場で「こころ」と「からだ」“わくわく”教室が開催されました。この教室は、昨年度から始まったものですが、総合型クラブ（総合型地域スポーツクラブ）の小学生と保護者及び指導者・関係者を対象に実施するものです。参加した児童が“わくわく”教室を通して運動の様々な効果を知ること、楽しさをより一層実感できるようにするとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する主体性を身に付けることを目的に実施しています。

昨年度に開催した第 1 回“わくわく”教室には、都城工業高校の北林健治教諭を講師に招き、「体幹づくり」「体重の移動感覚づくり」「講話」（世界ジュニアハンドボールでみた世界のジュニア選手たちの状況など）等の内容で実施していただきました。基本的な正しい動きを身に付けると次の段階にスムーズに波及していくことを学びました。

2 回目となる今回は「ジャイアンツ・メソッド」九州ベースボールアカデミー宮崎校より 6 名のコーチを招聘し、「投げる」をテーマとして開催いたしました。投げる一つの動作にはいくつかのステップがあること、その細かい一つ一つを丁寧に正確に繰り返し行い身に付けることにより将来確かなレベルの高い投げる技術を習得できることを学びました。宮崎の子どもたちには身体に余分な負担を掛けず無理のない、きれいなフォームを身に付けて欲しいと思います。



## 【捕る】

- ・足は肩幅より広くする。
- ・お尻を膝の高さまで下げ、右手でふたをする。



## 【投げる】

- ・右手の甲で頭に触れ、肘を上げる。
- ・上から腕を振る。
- ・右手で左手の手のひらをたたく。

総合型地域スポーツクラブ(4)

# 第6回宮崎県 エンジョイスポーツ フェスティバル

6回目を迎えたエンジョイスポーツフェスティバルは、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を中心に、県教職員互助会・県体育協会・県スポーツ施設協会の主催で実施している事業です。広く一般県民の皆様に、より楽しくスポーツに触れていただくという目的で本年度は県内5ブロックで開催しました。



## ●あさぎりブロック●

開催期日/平成28年10月23日(日)  
開催場所/高城運動公園総合体育館  
実施種目等/○スポーツバイキング ○ミニサッカー  
○ティーボール

## ●にしもろブロック●

開催期日/平成28年11月12日(土)  
開催場所/小林市総合運動公園  
実施種目等/○各種スポーツ体験 ○スタンプラリー

## ●県北ブロック●

開催期日/平成28年12月4日(日)  
開催場所/サンドーム日向・お倉ヶ浜総合公園  
実施種目等/○スタンプラリー  
・サッカー ・バスケット ・フリスビー  
・ターゲットバードゴルフ ・吹き矢  
○体験教室  
・ミニテニス ・アジャター  
・オーパルボール ・ラダーターゲット  
○グラウンドゴルフ大会

## ●県央ブロック●

開催期日/平成29年2月18日(土)  
開催場所/宮崎市総合体育館・宮崎中央公園  
実施種目等/○スポーツバイキング  
○スポーツに関わる運動器検診  
○スポーツ交流大会  
○総合型スポーツクラブ紹介ブース

## ●西都・児湯ブロック●

開催期日/平成28年12月11日(日)  
開催場所/高鍋町小丸川河畔運動公園  
実施種目等/○スポーツバイキング  
・フライングディスクゴルフ  
・ティーボール  
・ターゲットバードゴルフ  
・ディスクターゲット  
○キッズサッカー大会

# 指導の 現場から



前号では県立宮崎工業高校陸上競技部監督である稲垣徳文氏を紹介いたしました。今回は県立宮崎大宮高校カヌー一部監督である末安純平氏にお話を伺いました。

県立宮崎大宮高校  
カヌー一部監督

**末安 純平 氏**

**事務局** 先ずは、本年度行われた、全国高校総体カヌー競技男子カナディアンフォアにおいて優勝、そして昨年度の女子カヤックシングルの優勝に続き、2年連続で全国チャンピオンを輩出した偉業に対しまして心よりお祝い申し上げます。

また、本年度の「希望郷いわて国体」においても競技別天皇杯3位という素晴らしい成績を収めていただき、本県の実業団総合順位を原動力となっておられました。重ねて感謝申し上げます。



**事務局** さて、ここ数年、常に全国トップクラスで御活躍されています。県内でも有数の進学校であり、限られた時間での活動だと思

いますが、普段の練習で工夫されていることは何でしょうか。

**末安氏** どうしても活動時間に関しては厳しい状況です。だから「量よりも質」を念頭に置きながら常に工夫をしています。

例えば、1つの練習で複数の効果を得るような練習を積極的に取り入れています。また、「選手自身が考える」ということにも着手し、間違いが生じた場合でもすぐに指導者が指摘するのではなく、選手自身の「気づき」という部分を促しながら取り組んでいます。しかし、その「気づき」は一步間違えば、放任にもなりかねないので、選手が行き詰まった場合には、タイミング良く指導する必要があります。そのためにも、指導者は常に選手の状況を把握しておく必要があります。

**事務局** まさにやらされる練習ではなく、求める練習ですね。次に末安先生の指導を拝見させていただきながら、「自然体」という言葉をイメージします。末安先生が指導で心がけておられることはなんですか。

**末安氏** 基本をおろそかにしているわけではありませんが、型にはめないといいますが、選手の

長所を伸ばすということですかね。10人いれば10人とも違います。その個性に応じたスタイルを確立してあげることが大切だと思います。

また、宮崎県の高校カヌー界は「チームみやぎき」として複数の学校で合同練習を行っています。本校の生徒も様々な指導者の方に教えてもらっており、その効果は絶大です。

しかし、それによって選手にも迷いが生じることがありますから、それを敏感に感じ取り払拭してあげることが大切ですね。

**事務局** 今もなお、新しいものを吸収しようとする姿勢。そして、バランスよく周囲との連携を機能させていく調整力には感銘いたします。

次に末安先生は県カヌー協会の理事長としても御活躍されていますが、今後、本県のカヌー競技において、競技力向上の視点から取り組まなければならないことは何だと思えますか。

**末安氏** 様々な課題がありますが、やはり競技の普及が一番あげられます。現在、少しずつ取り組んでいます。総合型地域スポーツクラブでカヌー競技を導入し、小・中学生にカヌー競技を体験してもらっています。

そして、私を含めたカヌー競技の指導者の教え子たちが社会人となり、新しい世代の子供たちにカヌー競技を指導してくれています。その体制ができつつあり、数年後には確立してくると思います。

**事務局** これからも宮崎大宮カヌー一部は全国の強豪校として続くと思いますが、今後の目標をおかせください。

**末安氏** 周囲の方々は3年連続全国チャンピオンの誕生を期待されていると思います。当然、私もそれに向かって精進しなければなりません。究極の目標は教え子の中から日本代表選手が誕生することです。

**事務局** 最後になりますが、本県スポーツ界が更なる競技力向上を目指す上で、何かお考えがあればお聞かせください。

**末安氏** 昨今、施設整備が叫ばれており、それは重要なことだとは思いますが、私は一番に「人を育てる」ということだと思えます。それは選手のみならず、指導者、そしてそれをサポートしていただく方々のことです。どれだけ立派な施設ができたとしても、それにマッチングする人材がいなければ、無意味なものになってしまいます。人材の育成は短期間ではできません。2巡目国体を見据え、早急に取り組まなければならないことだと思えます。

**事務局** ありがとうございます。今回は御多忙中にも関わらず、取材に応じていただいたことに感謝申し上げます。今後の更なる御活躍を期待しております。



## 取材を終えて

今回は、末安純平氏にスポットをあてました。取材に対して終始穏やかな口調で対応していただきましたが、カヌー競技に対する熱い思いをひしひしと感ずることができました。また、末安氏の指導者としてのバランス感覚には感銘した次第です。

これからも本県の競技力向上の要として、活躍してくれることと確信いたしました。



県高校柔道競技力向上に携わり始めたのは、昭和63年度定期異動で宮崎大宮高等学校に赴任したその年からであった。当初は自分自身でも意識するほどの気持ちはほとんどなく、「女子柔道を指導する」とは思いもよらぬ事というのが正直なところであった。その当時は「ヤワラちゃんこと田村亮子」の出現で柔道界は女子柔道ブームの真っただ中であった。その影響からか県内普通科高校を中心に女子柔道部が次々に創部され、大宮高校も柔道部史上初めて女子柔道部を創部した。その新入部員の中で中学時代に他競技での競技実績を持ち、体力的、精神的に高いレベルの生徒達がいた。これは本当に幸運であった。この頃から徐々に「女子柔道の競技力向上」を意識するようになった。

「運命の出会い」の女子部員達は、進学校の厳しい制約の中ではあったが持ち前の向上心と集中力を発揮して、2年後の平成2年度県高校総合体育大会柔道競技大会第1回女子団体初優勝という快挙を達成。その後も平成3年、5年と3回の優勝を果たし、特筆すべきは平成3年度全国高校柔道選手権大会女子個人56kg級で準優勝、平成5年度全国高校総合体育大会女子団体第5位(優秀校受賞)の実績を残す。この時期には不思議と「高い学力と競技力」を持つ選手達に恵まれた。創部から5年、急成長を見せ県内外で「女子柔道の大宮」と言われるまでになった。

そして、転機が訪れる。歴代のOB諸氏から強い要望も有り、平成5年度から「男子柔道の競技力向上」も目指した。「学力と競技力」の高い選手



チーム宮崎ペンリレー

## 競技力 向上に思う

都城商業高等学校 教諭 七條 和己



平成7年度全国高等学校総会体育大会 平成7年8月1日～20日

を県内一円から獲得することを考え、自宅に部員を下宿させることを決めた。この難題をクリアするために何とか妻を説得して自宅を新築することになり、男子を下宿させ本格的に強化を始めた。家族(妻や子供達)には大変な負担をかけてしまったが、全てを賭けた取組みの成果が平成7年度に現れたのである。県高校総合体育大会男子団体初優勝を達成してくれた。翌朝、新聞のスポーツ欄には「大宮初V! 男子柔道」と大きく報じられた。年度間の時間差はあるが県高校柔道初「男女アベック優勝」の金字塔を打ち立てた瞬間だ。番狂わせの少ない競技でそれも進学校の柔道部が実現したから痛快だ。まさに「文武両道」の体現である。当時の学校長の随想に柔道部の活躍を題材にして全校生徒へ「感動と勇気」を与えたと紹介された。部活動生は「文武両道」を達成することへの努力は当然の事として捉えており、「部活動したから」、「勉強したから」といった言い訳がましい事は聞いたことがない。私の経験上ではそう思えた。伝統に醸成された学校の雰囲気や偉業を生んだものと思う。さらに、厳しい制約の中から生まれた「工夫された練習」、「短時間で効率の上がる練習」は共通理解のもと徹底していた。その上で「動」と「静」の切り替えの早さ、集中力の発揮、常に向上心を持ち納得するまでの取り組み、素直で明るい態度や行動と指導する側の思いや考えに素早く反応する素晴らしい部員達がいたからである。また、指導者の情熱に理解を示していただいた学校長

はじめ学校全体での応援態勢や OB 会、父母の会、県内各柔道場や各中学校の先生方、本当に多くの方々からの支援は忘れてはならないと感謝するばかりです。それと最大の応援者である家族にも心から感謝している。

このように素晴らしい経験をする中でさらに高い目標を目指したいと思うようになり「競技力向上への情熱」は次なるステージに移っていくことになる。宮崎大宮高校の9年間で教師、指導者として成長させてもらい微力ではあるが指導力を付けさせてもらった。

その後、平成9年度定期異動により宮崎工業高校へと転勤する。それまでの指導経験のノウハウを生かせる環境が整った学校で「男子柔道の競技力向上」を目指すことになった。

各運動部が高い競技レベルを持ち「九州制覇」、「全国制覇」を常に視野に入れながら活動をしている県高校スポーツ界をリードする学校である。私は年齢的にも充実した時期を迎え、当然高いレベルの結果を求めた。その最終目標は「全国制覇」である。競技力向上には経験上、「選手獲得（スカウト）」、「徹底した選手管理（合宿所）」が基本であることを痛感していたので早速、スカウトと合宿所の選定に着手した。

私は、部員の先頭に立って厳しい練習、猛練習を始めた。部員を前に「近い将来必ずや全国大会へ出場する。目標を持たない者は進歩しない」と話してやる気を促した。道場の壁には「闘志なき者は去れ」、「目指せ！全国制覇」のスローガンを張り出し常に意識をさせた。その成果は、着任3年目の平成11年度に現れた。私立高校全盛期で準決勝（延岡学園）、決勝（宮崎日大）を制して全国高校柔道選手権大会初出場を果たし、監督、部員の夢であった日本武道館の畳の上に立つ事ができた。自分自身も「指導者として3年目に全国へ」の目標が達成できたのである。この時点で監督、部員とも「全国制覇」を身近に意識して目標とすることが共通理解となった。目標の定まった「戦う集団」は成長するスピードが想像を超えるものがある。平成11年度からの7年間で全国高校総合体育大会5回、全国高校選手権大会4回の合計9回の出場を果たす。団体実績では全国高校総合体育大会第5位が1回、ベスト16が2回、九州高校総合体育大会では準優勝2回、第3位4回を数える。また、県内大会での団体優勝回数は16回を誇る。個人は高校日本代表候補に選抜され国際ジュニア大会や海外合宿へ派遣される選手も数名輩出して飛躍的に競技力を伸ばした。しかし、最終目標であった「全国制覇」には残念ながら届かなかった。必死になって努力を重ねて追いか



けたがかなえることができなかった「夢」であった。指導者は「人生」を部員は「青春」をかけて取り組んだが「夢を現実」にすることはできなかった。ここまでのプロセスには、私自身も教え子達も悔いはないと信じている。

平成28年3月31日付で定年退職を無事迎えましたが、多くの方々に支えて頂いてここまで来られたと感謝するのみである。そして、大宮高校柔道部OB、OGの教え子達との退職祝賀会、宮崎工業高校柔道部OBの教え子・保護者との退職祝賀会では当時に思いを馳せて何人もの教え子達から「充実した高校時代であった」、「あのときの苦勞が今生きている」との言葉を聞くと「真剣」に「情熱」を持って取り組んだ指導で良かったと思えました。多くの感動やいろいろな思い出を振り返ると、指導していたつもりが、いつも学ばせてもらっていたように思える。

現在は都城商業高校で再任用の立場であるが、指導者として3校連続全国高校総合体育大会出場（個人試合）を果たし、県内高校柔道指導者では初めて達成した。若手指導者の模範となるべく奮闘努力の最中である。「競技力にかけた情熱」は過去のものではなく、進行形で次のステージに向けて進んで行きたい。今後は県内のジュニア層育成にも微力ではあるが、真剣に「選手づくり」、「人間づくり」に情熱を持って尽力していきたい。



# 平成28年度 公益財団法人宮崎県体育協会 第3回会長杯争奪ゴルフ大会



やる気満々のスタート前集合写真

公益財団法人宮崎県体育協会第3回会長杯争奪ゴルフ大会は、平成28年10月29日土曜日に佐土原町の宮崎国際ゴルフ倶楽部で、本会賛助会員の皆様や各競技団体など67名が参加し開催しました。

また、表彰式は懇親会を兼ねてホテルマリックスに会場を移し、盛会のうちに終了することができました。次回もよろしくお願いたします。



佐藤会長による始球式



ランチタイム



夜の表彰式・懇親会

## 団体成績 (上位3名スコア)

順位	チーム名	メンバー (敬称略)	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET	特別賞
優勝	門川町体育協会	和泉 満義、岩佐 誠、黒田 恒雄	143	135	278	55.2	222.8	
準優勝	九保大関係者	砂原 俊秀、毛利 和憲、赤木 久哲	154	149	303	76.8	226.2	
3	県レスリング協会	横山 公美、中村 正人、山内 武幸	152	150	302	74.4	227.6	
4	県バスケット協会	熊元 正一、熊元 廣正、坂下 浩至	136	123	259	31.2	227.8	
5	UMK テレビ宮崎	上本 公守、福盛 和男、大上 洋介	139	136	275	46.8	228.2	
6	MSAC	松元章一郎、小川 光明、片岡 光宏	131	134	265	32.4	232.6	
7	宮銀保証 KK	横山修一郎、児玉 優、児玉 浩二	151	161	312	79.2	232.8	
8	県柔道連盟	矢野 直幸、鳥居 敏文、村上 和男	146	138	284	49.8	234.2	
9	宮崎総合学院	栗山 重隆、児玉 淳郎、大坪 牧人	160	145	305	69.6	235.4	
10	すこやか保険	湯浅 里美、上村 勝、石田 喜克	153	147	300	63.6	236.4	躍進賞
11	宮崎ヤクルト	山本富士男、三好 耕一、杉尾 喜文	146	144	290	52.8	237.2	
12	八輪会	函師 幸嗣、奥松 和憲、黒木 穰	130	144	274	34.8	239.2	
13	県体育協会	長友 寧雄、鈴木 修也、大澤 由一	152	157	309	64.8	244.2	

## 個人成績ベスト5

順位	氏名	年齢	所 属	前半	後半	GROSS	HDCP	NET	特別賞
優勝	砂原 俊秀	65	学校法人順正学園九州保健福祉大学チーム	50	45	95	24.0	71.0	
2	和泉 満義	64	門川町体育協会	50	45	95	24.0	71.0	
3	熊元 正一	58	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	39	36	75	2.4	72.6	BG DC
4	日高 智雄	70	宮崎県柔道連盟	50	48	98	24.0	74.0	
5	福盛 和男	40	UMK テレビ宮崎	45	46	91	16.8	74.2	

# 平成29年 公益財団法人宮崎県体育協会 新春関係者の集い

平成 29 年 1 月 18 日 (水) 宮崎市内の「ホテルニューウェルシティー宮崎」において、本協会の賛助会員を中心に県・県議会・市町村関係・加盟団体等、156 名の参加を得て「新春関係者の集い」が開催されました。



佐藤勇夫会長挨拶



稲用博美副知事来賓挨拶



渡辺創県議会代表祝辞



田村俊彦宮崎市副市長の御発声で乾杯



本県開催が内々定している、2026 年第 81 回国民体育大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会の成功へ向け、官民挙げて取り組んでいくとともに、2020 年東京オリンピックの開催に伴うサポート事業、2017 年全国中学校体育大会・2019 年全国高等学校総合体育大会等の本県開催など、本県の競技力やスポーツに対する熱い思いを試される全国レベルの大会が目白押しであり、「県民総ぐるみスポーツ支援」の切っ掛け作りと、各競技団体と賛助企業との協力体制作りサポートの為、昨年に引き続き開催されました。

会場内は熱気に溢れ、それぞれの立場で本県スポーツの振興・発展に向けた議論が交わされていました。

## ～感謝状贈呈～



御来賓の御紹介



株式会社 JTB 九州 宮崎支店



有限会社 創和

## 「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

## 《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております個人・団体・企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、平成38年度本県開催国民体育大会成功のため、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。  
※なお、本会は、税制上の「特定公益増進法人」に該当しますので、本会賛助会へ加入した場合、優遇措置（寄附金控除）を受けることができます。

(平成28年4月1日から平成29年2月末現在)

I 法人・企業・団体名(176)	50音順、敬称略
アイワ工業株式会社	旭化成株式会社延岡支社
アリストンホテル宮崎	居酒屋・活漁 善助
一般財団法人弘潤会野崎東病院	一般財団法人みやぎん経済研究所
井上酒造株式会社	医療法人雅会河野整形外科
雲海酒造株式会社	エースランド株式会社
江坂設備工業株式会社	MG S 有限会社
Mスポーツ整形外科クリニック	大塚製菓株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社	小田油脂工業
学校法人順正学園九州保健福祉大学	学校法人宮崎総合学院
株式会社AAO	株式会社AVC放送開発
株式会社JTB九州宮崎支店	株式会社青島グランドホテル
株式会社イー・アール・シー高城	株式会社エアラインホテル
株式会社エスアイエス	株式会社岡崎組
株式会社奥松建設	株式会社九州コミュニティーカレッジ
株式会社共立電機製作所	株式会社黒木本店
株式会社興電舎	株式会社コム光成
株式会社児湯食鳥	株式会社タダスポーツ
株式会社タビックスジャパン宮崎支店	株式会社テクノミックス
株式会社テレビ宮崎	株式会社デンサン
株式会社永野（うめこうじ・ながの屋）	株式会社中山荘
株式会社ニチワ	株式会社ニューウエルシティ宮崎
株式会社ニッショウ	株式会社日本旅行宮崎支店
株式会社HIKARI	株式会社ほっかほっか亭宮崎地区本部
株式会社ホテルマリックス	株式会社南日本ネットワーク
株式会社宮交シティ	株式会社宮崎観光ホテル
株式会社宮崎銀行	株式会社宮崎太陽銀行
株式会社宮崎ツアーサービス	株式会社宮崎日日新聞社
株式会社宮崎放送	株式会社宮崎山形屋
株式会社明光社	株式会社メイトーテック
株式会社夕刊デイリー新聞社	株式会社ヨシダヤ
神崎建設工業株式会社	協同紙工株式会社
京屋酒造有限会社	霧島酒造株式会社
倉本鐵工株式会社	清本鐵工株式会社
黒木穰税理士事務所	現代ビジネススクール八輪会
公益財団法人スポーツ安全協会宮崎支部	公益財団法人みやぎ観光コンベンション協会
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会	公益社団法人宮崎県柔道整復師会
合資会社小川屋	合資会社ルミエール日向
興梧豆腐有限会社	興和商事株式会社
子宝・安産の宿 地蔵庵	JTB協定タクシー連盟宮崎会
JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部	セラミックオフィス図師
大星電機株式会社	高鍋信用金庫
ちさか小児科	手作り弁当マロ
東武トップツアーズ株式会社宮崎支店	野崎漬物株式会社
延岡信用金庫	原徹司法書士事務所
バラの砂	フェニックスリゾート株式会社
福岡木材有限会社	部落差別をなくす県民会議
弁護士法人衛藤法律特許事務所	保険サット株式会社
ホテルシーズン日南	ホテルメリージュ
松田商事株式会社	丸山物産株式会社ホテルクレイン橋
丸山物産株式会社ホテルスカイタワー	道本食品株式会社
南日本酪農協同株式会社	宮銀カード株式会社

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 宮銀ビジネスサービス株式会社       | 宮銀ベンチャーキャピタル株式会社    |
| 宮銀保証株式会社             | 宮銀リース株式会社           |
| 都城信用金庫               | 宮崎液化ガス株式会社          |
| 宮崎カーフェリー株式会社         | 宮崎ガス株式会社            |
| みやざき魚菜志ほ             | 宮崎空港ビル株式会社          |
| 宮崎ケーブルテレビ株式会社        | 宮崎県運動具商協同組合         |
| 宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合     | 宮崎県遊技業協同組合          |
| 宮崎交通株式会社(宮交ホールディングス) | 宮崎酸素株式会社            |
| 宮崎信用金庫               | 宮崎日産自動車株式会社         |
| 宮崎ひむかライオンズクラブ        | 宮崎ヤクルト販売株式会社        |
| 民宿美波                 | 名鉄観光サービス株式会社宮崎支店    |
| 米良電機産業株式会社           | 有限会社青木画材店           |
| 有限会社アーキコスモ           | 有限会社いっせい・お弁当のくうらく亭  |
| 有限会社いろは企画            | 有限会社かわにしスポーツ        |
| 有限会社教互センター           | 有限会社郡山板金工業所         |
| 有限会社こどもの村 野村瓦屋       | 有限会社創和              |
| 有限会社ソニア              | 有限会社タケマサ自動車整備工場     |
| 有限会社トレス              | 有限会社橋本商会            |
| 有限会社ホテル金住            | 有限会社マイルストーン         |
| 有限会社南九州商事            | 有限会社宮崎上水園           |
| 有限会社山崎自動車            | 有限会社吉見歯科器械店         |
| ゆち内科胃腸科クリニック         | 吉原建設株式会社            |
| 旅情苑やまざと              | 一般財団法人宮崎陸上競技協会      |
| 一般社団法人宮崎県サッカー協会      | 一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 |
| 特定非営利活動法人宮崎県サーフィン連盟  | 宮崎県弓道連盟             |
| 宮崎県グランドゴルフ協会         | 宮崎県ゲートボール協会         |
| 宮崎県高等学校体育連盟          | 宮崎県高等学校野球連盟         |
| 宮崎県四半的弓道連盟           | 宮崎県銃剣道連盟            |
| 宮崎県柔道連盟              | 宮崎県水泳連盟             |
| 宮崎県スイミング協会           | 宮崎県スケート協会           |
| 宮崎県ソフトボール協会          | 宮崎県体操協会             |
| 宮崎県卓球協会              | 宮崎県中学校体育連盟          |
| 宮崎県テニス協会             | 宮崎県軟式野球連盟           |
| 宮崎県馬術連盟              | 宮崎県バドミントン協会         |
| 宮崎県バレーボール協会          | 宮崎県武術太極拳連盟          |
| 宮崎県ボウリング連盟           | 宮崎県ライフル射撃協会         |
| 宮崎県ラグビーフットボール協会      | 宮崎県レスリング協会          |

II 個人会員(89)

秋田 義久	朝比奈 紀行	東 啓三	東 行男
新木 るり	安 在野	飯 干裕二	石 原 実
井上 みづえ	井 野浩司	入 倉 俊一	岩 切 昭二郎
岩切 正義	上 杉 聡	植 松 義文	内之倉 和彦
大澤 由一	大 西敏夫	尾 崎 太朗	長 田 貞次郎
押川 尚生	甲 斐 藤昭	鹿 島 庄一郎	片 岡 光宏
鎌田 伸次	上江田 安博	川 崎 重雄	川 添 健一
河野 吉榮	河 内 徳康	黒 木 誠一郎	児 玉 剛
桑畑 裕子	坂 口 和隆	財 津 吉長	斉 藤 重保
佐藤 勇夫	重 信 和行	佐 野 正紀	塩 月 光夫
菅 中 裕久	田 代 均裕	鈴木 修也	園 田 浩二
黒葛原 朱美	中 馬 康裕	谷 口 誠也	田 村 剛
長友 辰雄	長 倉 春義	長 友 達也	得 能 寧雄
中村 正親	永 野 雄造	中 村 嫁苗	丹 生 進一
橋口 敏英	萩 尾 英司	橋 田 和実	花 田 寔誠
原田 昭彦	日 浦 二三男	原 田 種英	原 田 彰
日高 良一	廣 田 忠則	日 高 和典	廣 田 央志
藤元 良一	三 浦 徹也	古 川 康二	前 原 大蔵
水迫 隆茂	森 九州男	宮 田 直之	向 井 師正
森 隆茂	安 影 和寿	森 本 顕也	栗 渡 理
横山 博典	渡 邊 常介	若 林 繁幸	

## 編集後記

まずは、本年度の公益財団法人宮崎県体育協会における、全ての事業等が無事に終了したことを御報告を申し上げますとともに、関係各位の方々からの御支援等に衷心より感謝いたします。

今年はオリンピックイヤーでありました。本県に縁のある監督・コーチ・選手・役員の方々がりオデジャネイロの地で素晴らしい活躍をされ、県民に元気・勇気・感動を与えていただきました。2020年に開催される東京オリンピックに向けて、まさに日本中にスポーツの風が吹いています。

そのような状況の中、本協会としても本県スポーツの発展のために、様々な事業に取り組んでまいりました。

まず、2年前より計画的に推進してまいりました国民体育大会第36回九州ブロック大会の開催においては、関係各位の御支援と御指導のおかげで無事に終了することができました。

次に宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクトについては、本年度からの1期生を対象に22回のプログラムを実施しました。来年度は新たに2期生が誕生し、1期生と同時進行でプログラムを実施していく予定です。

また、女性アスリート強化事業として計画的に研修会等を実施してまいりました。来年度はさらに事業を拡大し、女性アスリートの競技力向上に尽力したいと考えております。

それ以外にも、県スポーツ少年団活動の推進、指導者の資質向上を目的とした指導者協議会の充実など、広報活動も含め多岐にわたる事業を展開してまいりました。今後は、これらの事業をさらに深化させることはもとより、今までに取り組んできた様々な事業に関しても、抜本的な見直しを図っていきたいと考えております。

競技力向上としましては、その指標となる国民体育天皇杯順位が目標としていた30位台を確保し、昨年の42位から順位を上げ39位という成績を収めました。また、皇后杯順位も昨年の最下位から44位と順位を上げることができました。これも関係競技団体の御努力の賜物であると深く感謝申し上げます。来年度は天皇杯順位目標を30位台中盤と設定し、9年後に本県で開催される2巡目国体の天皇杯獲得に向けて、関係競技団体と連携を図りながら競技向上に尽力したいと考えております。

さて、今回もおかげさまで、本誌「宮崎体協 213号」を発売することができました。この発刊に際し、御多忙の中、寄稿・写真提供をしていただいた全ての方々へ心より感謝を申し上げます。

最後になりますが、今後も本協会として、宮崎県スポーツの発展のために、誠心誠意、努力してまいりますので、これからも温かい御支援・御鞭撻を心よりお願い申し上げます、編集後記とさせていただきます。



### ●事務局●

公益財団法人 宮崎県体育協会

〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山 1443-12

KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付・案内所 2F

TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630

E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

### ●発行所●

公益財団法人 宮崎県体育協会

編集発行人 川崎 重雄

### ●表紙写真●

第72回国民体育大会冬季大会、  
スポーツ優秀賞・奨励賞  
(小・中・高校生)

# Sports for all 推進費付き 自動販売機設置事業

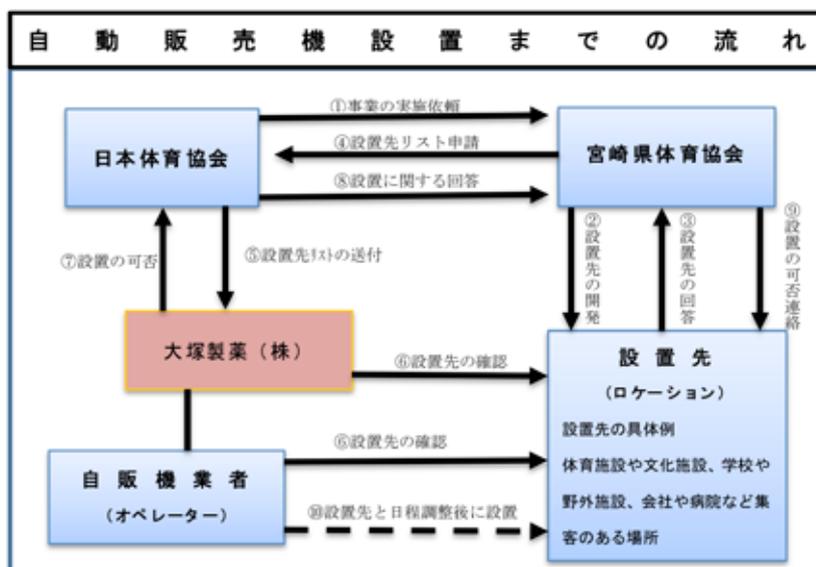


※自動販売機ステッカー

公益財団法人宮崎県体育協会では、本県体育スポーツの普及と振興、競技力向上対策事業の充実を図るため、日本体育協会オフィシャルパートナーである大塚製薬株式会社と協力し、『Sports for all 推進費付き自動販売機設置事業』を実施しています。

この自動販売機を県内に設置することで、売上げの一部が本県のスポーツ振興に役立てられます。是非、本県のスポーツ振興とスポーツ環境の設備のためにご協力を賜りますようお願いいたします。

また推進費付き自動販売機をご利用戴くことでも振興に貢献できます。Sports for all 推進費付き自動販売機ステッカー（※参照）を見かけましたら是非ご利用ください。



- ※オペレーターからの手数料については、毎月1本あたり10円で振り込まれる。
- ※販売の明細についても、オペレーターから毎月報告が通知される。
- ※設置にあたり日体協、大塚製薬、オペレーター、設置先の4者契約を締結する。

# Sports for all

## 推進費付き自動販売機設置事業 ご協力をお願い

☆自動販売機設置の御協力ありがとうございます☆

「グランデオオシマ I」東入口 1 台  
宮崎市東大宮 4 丁目 6-28

平成 26 年度から本会の会議やイベント等、様々な場面で御協力のお願いをさせていただきましたが、これまでに 1 件のマンションオーナー様からのみ設置の御協力を頂きました。

今後、皆様方の御協力によって、多くの競技団体へ支援することができ、本県選手達の活躍に寄与することができると思いますので、本県のスポーツ発展・振興のためにも、御理解・御協力の程よろしくお願い致します。

**新設・増設の御検討、設置スペースの確保及び提供等ございましたら  
公益財団法人宮崎県体育協会までご連絡ください。**

(既設の大塚製薬(株)自動販売機でも対象になります。)

### ※設置先推薦リスト様式

公益財団法人日本体育協会 「Sports for All推進費付き自動販売機設置事業」設置先リスト					
	紹介先施設名(新規・既存)	所在地住所	交渉先		
			担当者名	団体・企業名	住所・TEL
1	(新規・既存)				〒 Tel ( )
2	(新規・既存)				〒 Tel ( )
3	(新規・既存)				〒 Tel ( )
4	(新規・既存)				〒 Tel ( )

上記施設を紹介いたしますので、よろしくお願いいたします。

送信先 日本体育協会広報キャンペーン課 FAX : 03-3481-2284	団体名 : _____ 事務担当者名 : _____ 部署名 : _____ TEL : _____
---	---

※本会 HP の「宮崎県体育協会について」・賛助会員募集⇒推進費付き自動販売機設置事業の中にリスト様式があります。



私たちは  
宮崎のスポーツを  
応援します。

## 日本体育大学宮崎県同窓会

ご連絡とお問合せは

〒 886-0213 宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3164-2  
電話・FAX 0984-44-1312

日本体育大学宮崎県同窓会会長 後藤 憲一  
日本体育大学宮崎県同窓会事務局長 鶴水 義広

# 弁当はお任せください



木花運動公園  
すぐ近くです！

ご予算に応じて  
内容も変更可能！

地元ならではの材料で  
作る美味しい手作り弁  
当はいかがでしょう！  
大会前日までにご予約  
いただいた方にはさら  
にサービスいたします。

手作り弁当  
マロ

県総合運動公園前

TEL 0985-58-0785

FAX 0985-58-1252

大 正 7 年 創 業

小川屋伝統の安心と信頼の味でおもてなし



小川屋

会席・折詰・弁当・オードブル

各種会合、行事、スポーツ大会等にご用意いたします！  
配達・空回収も承りますのでお気軽にご相談下さいませ。

【宮崎店】

宮崎県宮崎市柳丸町 144  
TEL 0985-22-5251 FAX 0985-23-5904

【都城店】

宮崎県都城市宮丸町 2794  
TEL 0986-36-6555 FAX 0986-36-6556

ホームページ <http://www.ogawaya.org>



株式会社 タダスポーツ

宮崎のスポーツシーンを応援します



〒880-0841 宮崎市吉村町曾師前甲3169-4  
TEL 0985-24-2639 FAX 0985-33-9552  
Mail: tada-sports@ninus.ocn.ne.jp



整形外科  
リウマチ科  
リハビリテーション科  
外科

日本整形外科学会 整形外科専門医 院長 河野 雅行

☎ 0985-39-3313 (代)  
病棟用 39-2633

診療時間

A.M.8:00 ~ P.M.7:00  
休診日/日曜・祝日・土曜午後

宮崎市大字島之内 7309  
<http://www.miyabi-kai.jp/>

【バス】10号線沿い住吉停留所 徒歩3分  
【鉄道】JR日豊本線 住吉駅 徒歩10分

駐車場あり  
60台

「夢、感動、  
チャレンジ」

名鉄観光はスポーツを  
する人をサポートします

名鉄グループの幅広いネットワークで一翼を担います

 名鉄観光

名鉄観光サービス(株)宮崎支店

〒880-0001 宮崎市橘通西2丁目4-20 (アクア宮崎ビル5階)  
TEL 0985-26-1414・FAX 0985-20-7355  
E-MAIL : miyazaki@mwt.co.jp



# 東武トップツアーズ

TOBU TOP TOURS

## 宮崎支店

〒880-0805

宮崎市橋通東3-1-47 宮崎プレジデントビル4階

TEL 0985-25-6111

FAX 0985-29-3010

**2026年二巡目**

**宮崎国体を成功させよう！**



**私たちは  
宮崎のスポーツを応援します**

**賛助会員募集中**

公益財団法人宮崎県体育協会では、宮崎のスポーツを応援する「賛助会員」を募集しています。詳しくは、本協会にお問い合わせ下さい。

〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字島山1443-12

KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園受付案内所2F

TEL (0985) 58-5633

FAX (0985) 58-5630

ホームページアドレス : <http://www.miyazakiken-taikyo.jp>

メールアドレス : [miyazakiken@japan-sports.or.jp](mailto:miyazakiken@japan-sports.or.jp)



## のどをうるおすだけの 飲料ではありません。

「のどが潤いた」と言うとき、  
潤いているのはのどだけではありません。  
必要な水分とイオンが失われて、カラダ全体が潤っているのです。  
ポカリスエットは、体内の水分に近いイオンバランス、  
カラダに必要な水分と電解質をすばやくとり戻せます。  
カラダのことを考えれば、潤きにはポカリスエット。

イオンサプライ ポカリスエット  
**POCARI SWEAT**



# 日本旅行の 新しい旅のテーマです

「自然にやさしい旅」  
「体にやさしい旅」  
「こころにやさしい旅」



## 株式会社日本旅行 宮崎支店

観光庁長官登録旅行業第2号

〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通り1-6-35 住生命宮崎ビル1F

TEL:0985-24-5255 FAX:0985-24-9162

営業時間:平日 9:30~17:30 土・日・祝休業



旅行業公正取引  
協議会 会員



(社)日本旅行業協会正会員  
ボンド保証会員



感動のそばに、いつも。

おいしい空気に  
出会うのも旅。



JTB九州は「スポーツランドみやざき」を応援します！

**JTB** 九州宮崎支店

JTB協定旅館ホテル連盟宮崎支部

JTB協定タクシー連盟宮崎会

〒880-0805

宮崎県宮崎市橘通東 4-7-28

電話／0985-29-3511

ファックス／0985-27-1124

<http://www.jtb.co.jp/shop/miyazaki/>

# 25<sup>th</sup> Anniversary

おかげさまで25周年

## MTS 株式会社 宮崎ツアースervice



### イオンモール宮崎店

〒880-0834  
宮崎市新別府町江口 862-1  
イオンモール宮崎 2F  
TEL 0985-61-3111  
FAX 0985-61-3221  
●営業時間  
9:00～21:00  
(年中無休)



### イオンモール都城駅前店

〒885-0023  
都城市栄町 4672-5  
イオンモール都城駅前 2F  
TEL 0986-46-5700  
FAX 0986-46-5701  
●営業時間  
9:00～21:00  
(年中無休)



### 本社営業所

〒886-0004  
小林市細野 288-1  
TEL 0984-23-5551  
FAX 0984-23-5524  
●営業時間  
9:00～18:00  
(日曜・祝日休)



### ツーリストプラザ鹿児島

〒891-0115  
鹿児島市東開町 7  
イオンモール鹿児島 2F  
TEL 099-201-6300  
FAX 099-201-6301  
●営業時間  
10:00～22:00  
(年中無休)